

筑波学院大学 オフ・キャンパス・プログラム 2019 年度報告書



1. 社会参加活動学生数

表1 OCP 社会参加活動学生数

授業名	受入団体数	学生数
実践科目 A	27 団体 (28 イベント)	延 213 名 (183 名)
実践科目 B	38 団体	延 140 名 (139 名)
実践科目 C	7 プロジェクト	16 名
合計		延 369 名 (338 名)

2. 実践科目 A

今年度は 27 団体 28 イベントで延 213 名の学生が活動を行った。以下、表 2 は受入団体の一覧である。

表 2 実践科目 A 社会参加活動一覧

No.	受入団体	プログラム名	人数
1	茨城県 国体・障害者スポーツ大会局	いきいき茨城ゆめ大会 選手団サポートボランティア	38 名
2	筑波山クリーンアップ大作戦実行委員会	筑波山クリーンアップ大作戦	32 名
3	つくば市スポーツ振興課	第 39 回つくばマラソン	27 名
4	つくばセンター地区活性化協議会	ランタンアート 2019	19 名
5	音の宝箱・つくば企画運営会議	音の宝箱つくば 2019	13 名
6	株式会社カスミ	カスミ・クリスマスタウン	8 名
7	土浦自動車学校	ツチキョー一日解放イベント	7 名
8	筑波技術大学	障害者スポーツ大会	6 名
9	つくば市市民活動センター	1 本からのクリスマスツリー	6 名
10	学内プロジェクト (山野井先生)	つくば科学フェスティバル 2019	6 名
11	おしゃべり会	病院での夏祭り	5 名
12	NPO 法人宍塚の自然と歴史の会	案山子送り	4 名
		里山保全活動(里山さわやか隊)	1 名
13	アートタウンつくば実行委員会	アートタウンつくば 2019	4 名
		大道芸フェスティバル	
14	一般社団法人茨城ワクドキクラブ	WakuDoki インドアキッズフェス	4 名
15	牛久チャレンジフットボールクラブジョイア	知的障がい者サッカー定期練習会	4 名
16	つくば遊ぼう広場の会	子供との冒険遊び	4 名
17	水戸ヤクルト販売株式会社	ピンクリボンウォーク in 千波湖 2019	4 名
18	水戸市災害ボランティアセンター	水戸市洪水災害支援	4 名
19	NPO 法人つくば環境フォーラム	オオムラサキの棲む里山作り	3 名
20	NPO 法人ままとーん	保育サポート	3 名
21	関彰商事株式会社	夏のキッズアート体験	3 名
22	つくば特別支援学校	つくばフェスタ (小学部)	3 名
23	NPO 法人自然生クラブ	田楽の集い (稲刈り)	1 名
24	NPO 法人にっこりの森	知的障害児の学童保育	1 名
25	セイラビリティ土浦	誰でも楽しもう霞ヶ浦	1 名

26	つくば自立生活センターほにゃら	障害のある人もない人も みんなが楽しめる運動会	1名
27	学内プロジェクト（高藤先生）	つくば科学フェスティバル2019	1名
		合計	213名

3. 実践科目 B

今年度は38団体で延べ140名の学生が活動を行った。以下、表3は受入団体の一覧である。

表3 実践科目 B 社会参加活動一覧

No.	受入団体	参加人数
1	第19回全国障害者スポーツ大会（茨城県障害者スポーツ大会課）	11名
2	つくば市市民活動センター	11名
3	茨城県立中央青年の家	9名
4	音の宝箱・つくば企画運営会議	8名
5	株式会社エイチ・アイ・エス	7名
6	NPO 法人 FIELD UCHIHARA	7名
7	一般社団法人茨城ワクトキクラブ（県内茨城トヨタグループ）	6名
8	NPO 法人つくば環境フォーラム	6名
9	筑波山クリーンアップ大作戦実行委員会	5名
10	学内プロジェクト：筑波学院大学セグウェイプロジェクト	5名
11	つくばエキスポセンター（つくば科学万博記念財団）	5名
12	吾妻まつり実行委員会	4名
13	学内プロジェクト：つくば科学フェスティバル等の教育イベント	4名
14	つくばセンター地区活性化協議会	4名
15	つくばクラフトピアフェスト	4名
16	つくば市国際交流協会	4名
17	つくば市都市計画部周辺市街地振興室	3名
18	つくば観光ボランティア298（一般社団法人つくば観光コンベンション協会）	3名
19	フォレストアドベンチャーつくば（株式会社フォレスフィールド）	3名
20	インストゥット エドゥカーレ	3名
21	つくば路100km 徒歩の旅運営協議会	2名
22	つくば市こども未来室	2名
23	アートタウンつくば実行委員会（つくば市商工会）	2名
24	NPO 法人動物愛護を考える茨城県民ネットワーク（CAPIN）	2名
25	まちかど音楽市場	2名
26	NPO 法人 NEWS つくば	2名
27	リサイクルを推進する会	2名
28	グルマン オーガニックファーム	2名
29	つくば遊ぼう広場の会	2名
30	アジア友情の会	2名
31	株式会社カスミ 環境・社会貢献部	1名

32	学内プロジェクト：ロボットセラピー	1名
33	認定NPO 法人宍塚の自然と歴史の会	1名
34	清水洞の上自然を守る会	1名
35	かすみがうら市歴史博物館	1名
36	茨城県立歴史館	1名
37	NPO 法人にっこの森	1名
38	学内プロジェクト：KVA 杯小学生ドッジボール大会	1名
	合計	140名

4. 実践科目 C

今年度は7つのプロジェクトを16名の学生が活動を行った。以下、表4はプロジェクト一覧である。

表4 実践科目 C 社会参加活動一覧

	プロジェクト名 (受入団体)	参加者数
1	アートタウン TV の運営 (アートタウンつくば実行委員会)	4名
2	大学プロモーションビデオと北関東 PV コンテストへの出展	4名
3	割りばし工作教室	2名
4	セグウェイツアーの企画・実践	2名
5	シャドウバース大会の企画・実践	2名
6	キャラクターを使った茨城県の観光フリーペーパー作成	1名
7	つくばインターナショナルサイクリング	1名
	合計	16名

5. 学生アンケート結果

5. 1. 実践科目 A : 回収 117 名 (学生 167 名の 70.1%)

- 「プラスになった」と回答した学生：76.9% (90名) (H30 : 83.6%、-6.7%)
- 1) 「楽しかったし、プラスになった」40.2% (47名) (H30 : 46.4%、-6.2%)
- 2) 「楽しくなかったが、プラスになった」36.8% (43名) (H30 : 37.1%、-0.3%)
- 「プラスにならなかった」と回答した学生：23.1% (27名) (H30 : 16.4%、+6.7%)
- 3) 「楽しかったが、プラスにならなかった」13.7% (16名) (H30 : 12.1%、+1.6%)
- 4) 「楽しくなかったし、プラスにもならなかった」9.4% (11名) (H30 : 4.3%、+5.1%)

5. 2. 実践科目 B : 回収 101 名 (学生 139 名の 72.7%)

- 「プラスになった」と回答した学生：79.2% (80名) (H30 : 82.5%、-3.3%)
- 1) 「楽しかったし、プラスになった」60.4% (61名) (H30 : 50.5%、+9.9%)
- 2) 「楽しくなかったが、プラスになった」18.8% (19名) (H30 : 32.0%、-13.2%)
- 「プラスにならなかった」と回答した学生：20.8% (21名) (H30 : 17.5%、+3.3%)
- 3) 「楽しかったが、プラスにならなかった」13.9% (14名) (H30 : 11.3%、+2.6%)
- 4) 「楽しくなかったし、プラスにもならなかった」6.9% (7名) (H30 : 6.2%、+0.7%)

5. 3. 実践科目 C : 回収 12 名 (受講学生 16 名の 75.0%)

- 「プラスになった」と回答した学生 : 100% (12 名) (H30 : 100%、0%)
- 1) 「楽しかったし、プラスになった 33.3% (4 名)」 (H30 : 50.0%、-16.7%)
- 2) 「楽しくなかったが、プラスになった 66.7% (8 名)」 (H30 : 50.0%、+16.7%)
- 「プラスにならなかった」と回答した学生の 0% (0 名) (H30 : 0%、0%)
- 3) 「楽しかったが、プラスにならなかった」 0% (0 名) (H30 : 0%、0%)
- 4) 「楽しくなかったし、プラスにもならなかった 0% (0 名) (H30 : 0%、0%)

5. 4. これまでのまとめ

2006 年度から 2019 年度までの、14 年間の結果は以下の表 5 と図 1 のようになる。

表 5 学生アンケート結果 (2006 年度から 2019 年度)

	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
プラスになった(実践 A)	65.7%	77.9%	86.0%	75.9%	78.4%	87.5%	85.1%	88.9%
プラスになった(実践 B)	69.4%	82.2%	84.6%	89.5%	91.9%	80.3%	85.3%	82.2%
プラスになった(実践 C)	—	78.6%	78.3%	84.5%	88.5%	86.0%	100.0%	100.0%
プラスにならなかった(実践 A)	30.0%	16.9%	13.1%	23.0%	20.3%	12.5%	12.9%	9.9%
プラスにならなかった(実践 B)	27.6%	13.5%	14.3%	7.6%	6.4%	19.6%	10.7%	17.7%
プラスにならなかった(実践 C)	—	19.4%	18.6%	15.5%	8.9%	12.0%	0.0%	0.0%

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	合計
プラスになった(実践 A)	93.8%	92.4%	74.5%	78.2%	83.6%	76.9%	81.8%
プラスになった(実践 B)	88.2%	84.6%	88.1%	81.1%	82.5%	79.2%	83.5%
プラスになった(実践 C)	88.9%	91.7%	92.9%	62.5%	100%	100.0%	88.6%

C)							
プラスにならなかった (実践 A)	6.2%	7.6%	25.5%	21.8%	16.4%	23.1%	17.1%
プラスにならなかった (実践 B)	10.5%	15.3%	11.9%	18.9%	17.5%	20.8%	15.2%
プラスにならなかった (実践 C)	11.1%	8.3%	7.1%	37.5%	0%	0%	10.6%

*) 実践科目 C は、平成 19 年度から平成 23 年度：必修科目、平成 24 年度から平成 26 年度：選択科目、平成 27 年度から：選択必修科目

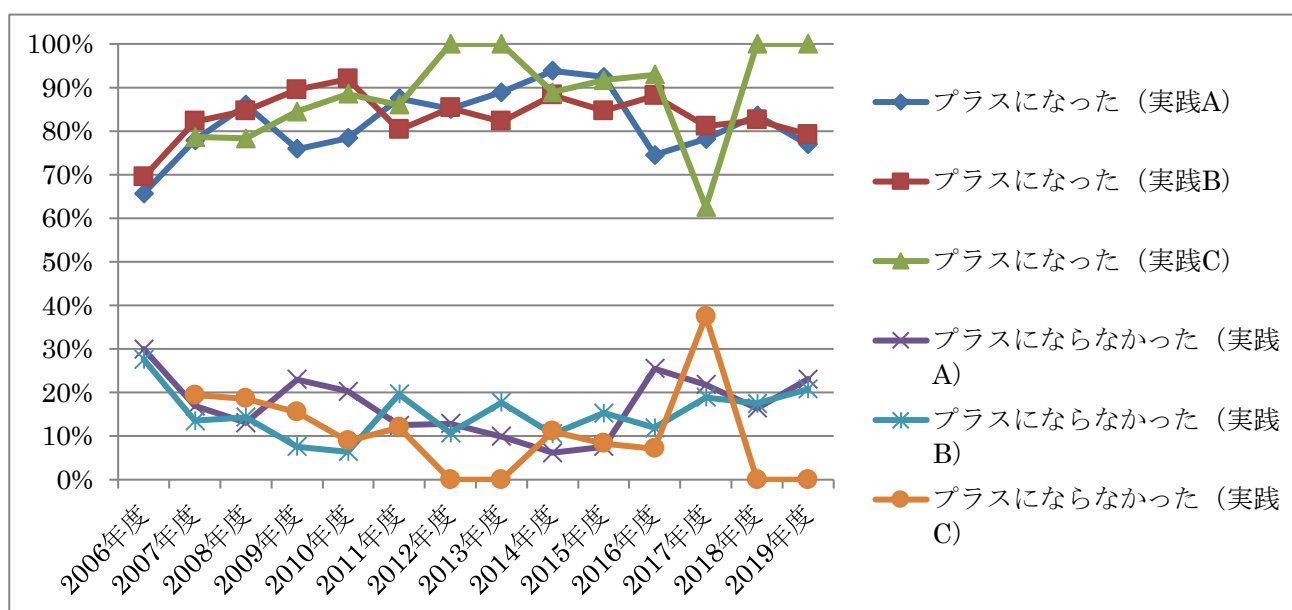


図1 学生アンケート結果 (2005 年度から 2019 年度)

6. 受入団体アンケート結果

2006年度の実践科目B開始当初より、受入団体から5段階評価のアンケートを行っており、今年度は表6の結果となった。

表6 実践科目B受入団体アンケート結果（2019年度）

No.	評価項目	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	合計	平均
I	今回の筑波学院大生の社会活動参加は貴団体に役立ったと思いますか？	0 (1) (0)		0 (4) (1)		2 (1) (0)		14 (14) (11)		22 (21) (17)	38 (41) (29)	(4.2) (4.5)
II	今回の筑波学院大生の社会活動参加は学生の社会力（様々な人たちと良い関係を作り、社会の運営に参画し、社会に貢献することができる力）向上に役立ったと思いますか？	0 (0) (0)		0 (1) (0)		4 (4) (2)		18 (16) (15)		16 (20) (12)	38 (41) (29)	(4.3) (4.3)
III	今回受入れた学生の活動状況はどうでしたか？			1 (1) (1)		3 (4) (1)		15 (17) (12)		19 (19) (15)	38 (41) (29)	(4.3) (4.4)

評価1：思わない（良くなかった）、3：普通、5：思う（良かった）

() 中段は2018年度、下段は2017年度のデータ

また、2006年度から2019年度までの、14年間の結果は以下の表7と図2のようになる。

表7 受入団体アンケート結果（2006年度から2019年度）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
I.団体に役立ったか	4.2	4.5	4.5	4.6	4.5	4.1	4.6	4.5
II.社会力向上に役立ったか	4.2	4.4	4.3	4.6	4.3	4.2	4.5	4.2
III.学生の活動状況	4.0	4.4	4.3	4.3	4.4	4.0	4.4	4.3

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	平均
I.団体に役立ったか	4.6	4.4	4.5	4.5	4.2	4.5	4.4

Ⅱ.社会 力向上に 役立った か	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4
Ⅲ.学生 の活動状 況	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.3

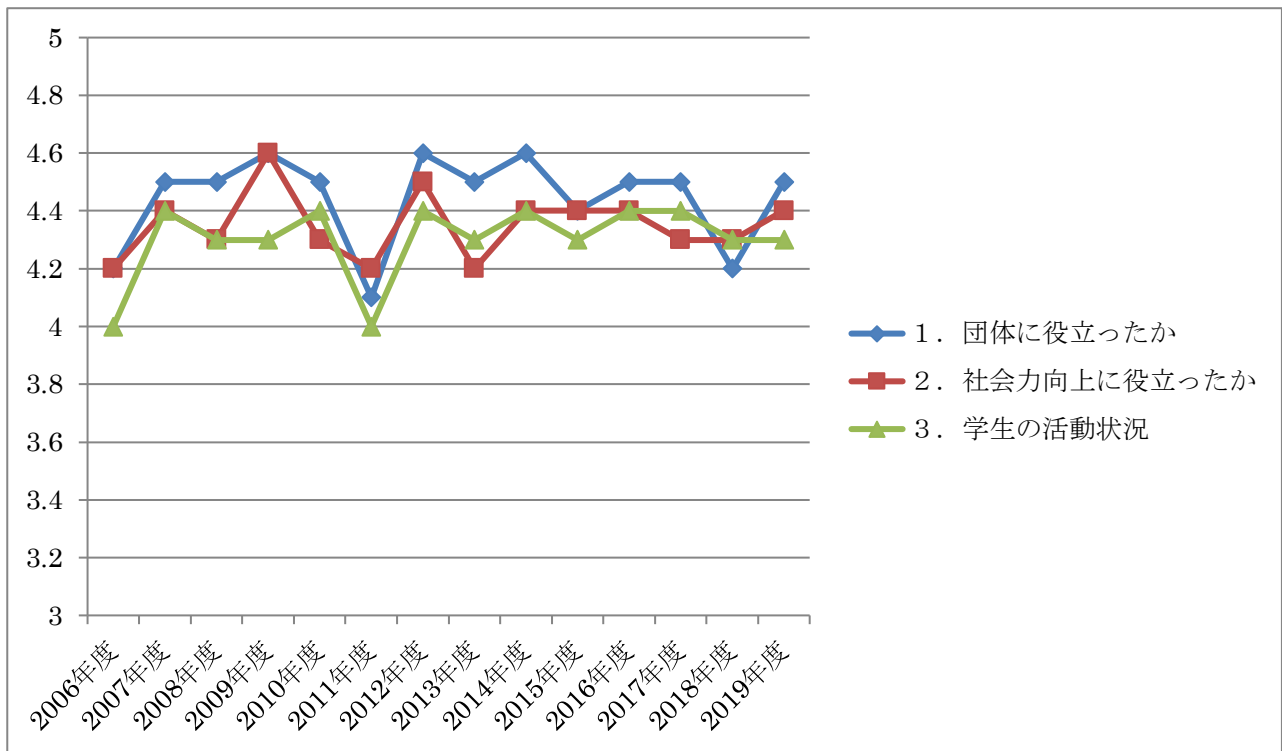


図2 受入団体アンケート結果 (2006年度から2019年度)

以上